

## 予算決算委員会会議録

### 1. 開催年月日

平成26年 6月16日 開会 11時45分 閉会 13時19分

### 2. 開催場所

全員協議会室

### 3. 出席委員名

藤原清和	大鳴二郎	西村慎次郎	河合謙治
荒木謙二	柳井一徳	惣台己吉	三宅文雄
坊野公治	藤原浩司	上野安是	簀戸利昭
西田久志	三輪順治	大滝文則	佐藤豊
井口勇	森下金三	森本典夫	

### 4. 欠席委員名

なし

### 5. その他の会議出席者

(1) 議長 宮地俊則

(2) 説明員

副市長	三宅生一	総務部長	長野隆
市民生活部長	北村宗則	健康福祉部長	佐藤文則
建設経済部長	田邊義博	水道部長	笠行眞太郎
病院事務部長	野崎正広	市民生活部次長	大舌勲
健康福祉部次長	中原康夫	病院事務次長	猪原忠教
企画課長	山下浩道	財政課長	渡邊聡司
子育て支援課長	猪原慎太郎	介護保険課長	川上邦和
商工観光課長	谷本悦久	農林課長	谷昌彦
上水道課長	藤井護		
教育長	片山正樹	教育次長	山田正人
生涯学習課長	田辺晶則	文化課長	武田吉弘
スポーツ課長	宮良人		

(3) 事務局職員

事務局長 三宅道雄 事務局次長 岡田光雄

### 6. 傍聴者

(1) 一般 0名

(2) 報道 1名

## 7. 発言の概要

**委員長（藤原清和君）** ただいまから予算決算委員会を開催させていただきたいと思えます。

本会議は大変ご苦労さまでございました。

初めに、副市長のごあいさつをお願いします。

**副市長（三宅生一君）** 改めまして、もうこの時間ですが、こんにちは。

皆様方には、本日は議案審議の後、この当予算決算委員会を開催いただきまして、本当にありがとうございます。当委員会に付託されております案件は、一般会計補正予算（第1号）、それから病院事業会計補正予算（第1号）ということでございます。関係職員が説明を申し上げますが、ひとつよろしくお願ひ申し上げます。

以上です。

### 〈議長あいさつ〉

### 〈議案第35号 平成26年度井原市一般会計補正予算（第1号）〉

#### 〈歳入全般〉

**委員（三輪順治君）** 12ページをお願いします。

財産収入の利子及び配当金です。

4基金の利子として、それぞれ15万円が上がっておりますが、その元金と利率をそれぞれおっしゃっていただきたいと思えます。

**財政課長（渡邊聡司君）** この利子につきましては、このたび1億円ずつ予算要求いたしております。この1億円に対しまして、年利が0.3%で、半年間の利率を計上いたしております。

**委員（三輪順治君）** 基金の活用は、国債を買ったり、あるいは定期を買ったり、あるいはその他の投資関係で回ると思えますが、今回の半年とおっしゃったんですが、これは定期預金で半年間預けた結果、6月補正でこの金額が議決されれば、年度中の見込みである0.3%分の半年定期ですか、これが入ってくると、こういうことでよろしゅうございますか。

**財政課長（渡邊聡司君）** そのとおりです。

**委員（三輪順治君）** 14ページをお願いします。

先ほども基金の原資において、本会議場で森本議員がご質問なさいまして、お答えもありました。副市長のお答えもよくわかります。よくわかりますが、この財源の基本となつてくるものが前年度繰越金であろうと推測をいたします。

そこで、お尋ねいたします。

まず、この4億4,000万円余りの補正予算額の前年度繰越金ということになってますが、先ほど来は、市民サービスに影響がないということで繰り越して有効に使おうということで基金会計へ上げていくわけですが、このもとの財源、どういってお金が余ってこういう繰越金になつとんか。決算でも議論をさせていただいておりますが、主なもの、主な款とか項とか、そういったものについて、もとの財源について、重立ったもので結構ですから、何点か上げていただければというふうに思います。

**財政課長（渡邊聡司君）** 平成25年度の決算見込みで約5億円が繰越金として発生しております。この内容といたしましては、まず歳出につきましてといいますか、まず予算が総額で203億9,000万円余りございました。このうち支出額が195億3,800万円ということで、約8億5,000万円の執行残が生じております。これらにつきましては、例年4%程度の執行残が出ておりますので、ほぼ例年のとおりかなというふうにご考えておるところでございます。

一方、歳入につきましては、予算に203億円に対しまして、200億4,400万円の歳入でございます。約3億円程度、予算に対して減となっておりますが、この主な要因として、まず地方交付税が1億円予算よりはたくさん入っております。続いて、市税が約9,000万円、それから前年度の繰越金が1億9,000万円、予算に対して増となっております。一方、予算に対して減となっておりますのが、国県支出金が、事業費が減額になったというふうなことから約7,000万円、同じく市債につきましても1億4,000万円が減ということ。それから、収支均衡が図れたということから、財政調整基金、公共施設整備基金からの繰入予算額5億4,000万円ございましたが、これを繰り入れしなかったということから約5億円の繰越金が出たところでございます。

以上です。

**委員（三輪順治君）** アバウトは、昨年予算のときに大体聞いておるんですが、素朴な疑問で申しわけないんですが、例えばこの一般会計規模で8億5,000万円程度余ったと、こういうことですが、通常であれば、入札をする、契約残、執行残があると。そういうものは、普通は精算することによって国庫に返っていくのではないのでしょうか。それは、市の裁量でうまく契約ができれば、例えば10円のもの8円になった場合に、2円というのは市のほうで勝手に処分できるんですか。それとも、国とか県へ返さないといけない

んでしょうか。それ素朴な疑問なんですけど、お答えをお願いしたいと思います。

**財政課長（渡邊聡司君）** 国、県の補助金あるいは負担金等につきましては、これは歳出の事業費が確定して、それらに対する2分の1であるとか3分の1、そういった決められた補助率等で交付されます。したがって、余ったといいますか、必要以上のものを国、県からいただいているわけではございませんし、必要額だけをいただいているということから、歳出が下回ってくれば、当然歳入の補助金等も下がってくるということでございます。

**委員（三輪順治君）** その差が5億円程度になるんです。今のお話、歳出が8億5,000万円程度余った、歳入は3億円程度歳入減、差し引き5億円程度繰り越しになるんですが、その5億円、今の財政事情では5億円が何%か程度次年度へ入ってきて、こういう補正の財源になるんですが、現在は、先ほども副市長もおっしゃったように、これ厳しくなるので、こういった繰越金、精算済みであるということから、私の最初の質問の趣旨は、そういう決まったものを上げとるからぴちっとお金が合ってるんだとなると、8億円歳出で予定より下がったというのは、どこに、何で8億円お金が、歳出が少なくて済んだんでしょうか。ちょっと質問を角度を変えて聞きます。

**財政課長（渡邊聡司君）** 今、5月31日で会計閉鎖して、決算等の分析をやっとります。この内容につきましては、9月議会でぜひご質問いただきたいと思います。

**委員（三輪順治君）** 同じく14ページでございます。

諸収入でございます。

そこに雑入として、財団法人自治総合センターから、これは恐らく宝くじを財源としたものでありますけれども、この先ほどのご説明では、木之子の関係で公民館という名前が出てまして、コミュニティーセンターという名前が関連しておりますが、これは歳入のどこですかから、歳入に限ってお聞きしますと、この自治総合センター助成金というのは、こういった事業に例えば充当されるのか。井原市の自由にお金として宝くじの認可を受ければ、お受けになると思うんですが、要件の主なものをちょっとお示しをお願いしたいと思います。

**委員長（藤原清和君）** 三輪委員さん、どういうものに使われるんかというので、歳入のほうの今質疑なんじゃけど。歳入じゃけ、どういうなもんに使われるかということの今あれでしょう。どういうもんに使われるかは歳出の。

**委員（三輪順治君）** 歳入を確保するための要件をお聞きしよんです。

**市民生活部次長（大舌 勲君）** 今の質問がございました自治総合センターの助成金で、コミュニティーセンター助成金ということですが、主なものということで、今要綱持っておりませんので、全てわからないんですが、井原市が今までこの助成金を使ったものとしては、今出ております公民館について、それと地域づくりということで、太鼓であった

り、そういった地域づくりを備品購入が対象となっております。

**委員（三輪順治君）** その話は、かつてこの予算決算委員会でお聞きはしております。私が聞きたいのは、どういう施設、有効に宝くじを井原市が使うために、我々も勉強不足なんで、どういう例えば施設があって、井原市が要求すりゃ、宝くじセンターかなんか知らんですよ。そこが認めたらもらえるのであれば、これからの議員活動とか、あるいは地域の活動で、いろんな要望やありますね。そういったものは、どこに情報があるのかわからない。聞いておれば、去年も何か木之子で太鼓、去年かおととしか、太鼓を買うたとか、ことしまた木之子であるとか、例えば各地区で出とる事業の優先順位なんか、どういうふうにお決めになつとるんか、見えないんですよ、私たちに。私が聞きたいのは、そういう自治総合センターの助成対象になる一覧であるとか、あるいはこういうことであれば、井原市として採択に向けて動けるといような情報を提供してもらわんと、諸活動において、それぞれの議員、協働のまちづくりにしても、議員活動にしても、それらがやはりベーシックになれば、あっぴっと来て、ああこれは使えるとこうなるんで、そこらあたりをひとつよくわかるように、資料提供なり、あるいは今の対象、自治総合センターに、例えばリストとして10件ぐらい予約があって、上から順番にとりよってんか、そこらあたりの実態も何もわからないんです。要求すれば、オーケーならすぐ宝くじ協会のほうへ申請してもらえるんかどうか。いや、待て、今10件ぐらいあるからちょっと待てというと言われるんか、さっぱりわからない。そこら辺をちょっと明らかにしていただけます。

**市民生活部次長（大舌 勲君）** これは、岡山県を通じて宝くじセンターのほうに申請されますが、必ず申請したら通るというものではございません。このたびの公民館につきましても、担当課のほうで、公民館の、ほかにもございますが、市の補助金を使って修繕するもの、新築するもの、それからこういったコミュニティセンターの助成を受けるもの、こういったものは、窓口でそれぞれ地域の方と相談をさせていただいて、どちらでいくかということを決めさせていただいております。先ほど言いましたように、この助成金につきましても、申請しても通るか通らないかわからないということで、地域の方も納得された上で、1年前から動いて申請をします。このたび、3月末で、この木之子につきましてもは交付決定があったということで、このたび予算要求をさせていただいております。そういうことで、まず相談があった段階で、該当する財源に見合う助成制度があれば、そちらを紹介するということで、それぞれ対応しています。

**委員（三輪順治君）** ちょっと、委員長、適切に答弁するように言うて。

**委員長（藤原清和君）** 今質問されたのを、そういった情報あるでしょう。こういったもんがあるという情報の、それはわからないということ、議員さんそのものが。どこへそうい

う情報が入ってくるんかということ、よくわかるようにしてほしいということなんですけども。今のは、木之子のことだけの今出とりましたけど。

**市民生活部次長（大舌 勲君）** 要綱を今持っておりませんが、要綱につきましては、議員さんのほうにお出しすることで対応させていただきたいと思います。

**委員（三輪順治君）** 見ればわかるんですが、もう聞きませんが、2つだけ聞かせてください。

実施主体はどこでしょうか。

それから、もう一つは、いわゆる順番待ちになつとんでしょうか。

その2点をお聞かせ願いたいと思います。

**市民生活部次長（大舌 勲君）** 現在、お聞きしている事業はこの円地だけでございます。

**委員（三輪順治君）** 実施主体聞きよる。

**市民生活部次長（大舌 勲君）** 実施主体、この事業の実施主体といいますか、公民館の新築につきましては円地連合自治会でございます。

**委員長（藤原清和君）** 順番待ちがどがな状況になつとんかということでした。今のところ1件だけとおっしゃった。

**市民生活部次長（大舌 勲君）** 順番待ちしているような案件はございません。

〈なし〉

#### 〈第15款 総務費〉

**委員（坊野公治君）** 企画費の i r . b i s e i さんに対しての補助金なんですけれども、ちょっと事業の具体的な内容を教えていただけますでしょうか。

**企画課長（山下浩道君）** 美星地区で田植え、芋掘り、稲刈りなどを体験するイベントを開催します。それらも含めた地域の行事や農作業の風景などを、毎日のようにネット上で紹介をします。また、東京でのレストランでも写真展を開催したり、プロモーションビデオをホームページ、フェイスブック等で配信し、美星の魅力を発信していきます。こういったことを通じて、美星自体の価値を高め、訪れたい、食べたい場所とする。美星の野菜の価値を高め、売れる野菜にする。ネット通販や、あるいは美星に買いに来ていただく。そして、生産者の掘り起こし、新規就農者の育成につなげ、生きがいに発展させる。さらには、移住希望者をふやしていくという地域活性化の事業であります。

委員（坊野公治君） 結構です。

〈なし〉

〈第20款 民生費〉

委員（三輪順治君） 社会福祉費の障害者福祉費についてお尋ねいたします。

今回、補正をお組みになっております障害者の利用計画の策定業務に当たりまして、相談支援事業所に対する委託費で、井原市分として143万9,000円と組んでありますが、この所在地は、たしか笠岡であったと思うんですが、こういった自治体が関与して、全体の計画策定事業費が幾らで、井原市の負担割合が幾らなのかを教えていただければと思います。

健康福祉部次長（中原康夫君） 障害者の相談支援事業所、井原市、本市では、こだま園の相談事業所へ1名補助員を雇用するように計画をしております。なので、笠岡の圏域で行っている事業所ではございません。

委員（三輪順治君） さきに本会議で、サービス、債務負担も上がってんですが、利用計画の策定業務委託というふうなことをちょっとおっしゃったやに私は記憶しとるんですが、いわゆるサービス需要量の見込みであるとか、障害者総合支援法ができた以降、新たな動きであろうという認識でお聞きしとったんですが、今の話ですと、こだま園に1名補助員といいますか、職員が置かれる経費ということですか。どういうことですか。ちょっとよくわからなかったなので、もう一度ご説明をお願いします。

健康福祉部次長（中原康夫君） 介護保険と同じように、障害者につきましても、障害者それぞれに対するケアプランというのが必要になっております。そのプランを作成するという事業所がございます。

委員（三輪順治君） わかりました。要は、そうおっしゃっていただきや、本会議でわかったんですが、計画策定、要するに、障害者のための総合的なケアプランを実施する場所として、こだま園内へ人を1人配置し、その方がケアマネジャーというか、ケアプランをつくる実施者として事業を行うと。この事業年度が、本年度を含めて、債務負担がありますのは当面2カ年を限度としてやっていくと。とりあえずやっていくと。こういう理解でよろしいですか。

健康福祉部次長（中原康夫君） おっしゃるとおりですが、新たに置くという意味ではなくて、今現在も行ってありますが、それを補強するという意味でございます。

委員（三輪順治君） 聞くまあ思うとったんですが、補強というのは、新たに設置するものではないが補強するという、新たに設置するということと、補強するという、今までどうだったのか、ちょっと教えてください。

健康福祉部次長（中原康夫君） 既に、こだま園でサービス等利用計画を策定されておりますが、それをさらにスムーズに行えるように人員を確保するという意味でございます。

委員（三輪順治君） 最後にします。

1名増員分のこれ人件費、ほぼほぼ人件費相当分であると、こういうふうに理解してよろしいんですか。

健康福祉部次長（中原康夫君） そのとおりです。

委員（三輪順治君） 了解しました。

〈なし〉

#### 〈第25款 衛生費〉

〈なし〉

#### 〈第35款 農林水産業費〉

委員（三輪順治君） 本会議でご説明いただきました農業費の農業振興費の関係ですが、園芸総合対策事業の中で、リンドウの産地化を目指すと、こういうふうにおっしゃってまして、これは恐らく過去の流れであろうと思いますが、現在のリンドウ農家の戸数とか面積がわかればお知らせください。

農林課長（谷 昌彦君） 25年度で、リンドウ農家が12戸ございます。栽培面積が45.8アールとなっております。

以上でございます。

委員（三輪順治君） 産地化を目指す取り組みのスタートは前からされてますけども、リンドウというのは、申すまでもなく、観賞用であると思います。井原市とすれば、県の補助金をいただきながら、リンドウの産地化を目指していかれるわけですが、今後の見通しとして、リンドウ、今現在50アール未満でございますが、これからの予定が今わかれば、今年度の見込みと合わせてお教えをいただきたいと思います。

農林課長（谷 昌彦君） リンドウにつきましては、目標を1ヘクタールといたしております。



ます。それに向けて、今後栽培農家を募集していく考えであります。

以上でございます。

**委員（三輪順治君）** いずれにいたしましても、販路の拡大とか、いろいろこれから物を売っていく場合にはたくさんクリアせにゃいけん課題があると思います。ひとつ、県ともども、生産者ともども、あるいはJA含めて、知恵を出しながら、うまく1ヘクタールと言わずに、リンドウを含めて産地化に向けまして、お取り組みの強化をお願いしたいと思いません。

以上でございます。

〈なし〉

#### 〈第40款 商工費〉

**委員（三輪順治君）** 18ページの販路開拓事業、商工費の委託料ですね。先ほどの本会議では、海外を含む見本市に出展されると、販促、販売促進を図ると、こういうことでございますが、具体的に海外でしたら、今どこどこを想定され、国内でしたら、どこどこを想定されとるでしょうか。

**商工観光課長（谷本悦久君）** 海外につきましては、欧米と中国。

**委員（三輪順治君）** 欧米というて広いが。欧米、中国。

**商工観光課長（谷本悦久君）** 想定をしております。

国内につきましては、これは首都圏ということですので、東京を中心に首都圏でございます。

**委員（三輪順治君）** 倉敷に負けんように、ひとつ頑張ってください。

次の20ページお願いします。

そこに、高齢者就業機会創出支援事業委託料があるんですが、ちょっとイメージがいまいちわからないんですが、本会議での説明では、コーディネーターを設置して、セミナーの開催などを通して高齢者就労機会をふやしていくということで考えていらっしゃるんですが、高齢者の就業機会、高齢者という、まず高齢者は何歳なのかということ。それから、コーディネーターの方が具体的にどういう活動をして、例えば分野とすれば、どういうふうな分野をこれから考えていこうとされているのか。恐らくこれは委託事業ですから、人件費がほとんどだろうと思いますが、コントロールされるのは、多分商工観光課のほうであろうとは思いますが、ここらあたりについて、アバウトでいいんですが、事業概要についてご説明を

お願いいたします。

**商工観光課長（谷本悦久君）** まず、高齢者の位置づけであります、一応団塊世代が退職をされてふえてきているということで、基本的には60歳以上ということ想定をいたしております。

この高齢者就業支援コーディネーターというのは、基本的には人材派遣会社等々に委託をしまして、コーディネーターを雇用して、高齢者受け入れ企業の開拓をしたり、高齢者の就業ニーズに応じたセミナー等を開催をして、高齢者が地域で働くことができる場を創出するものであります。

**委員（三輪順治君）** シルバー人材センターの雇用機会の拡大との関連においてご質問いたしますが、高年齢者等の関係の法律ができてまして、それに基づいてシルバーができてますね。年間売り上げが、今1億、恐らく四、五千万円、もっといっとるかわかりませんが、シルバー人材センターとはバッティングすることはないんですね。

**商工観光課長（谷本悦久君）** 事業者の一つとして、シルバー人材センターも考えられるということでもあります。

**委員（三輪順治君）** いずれにしても、まだ60歳ということになると、本当にお元気で、これからの世代でもございます。ですから、そういう機会をぜひぜひおつくりいただくことにおいては、大変夢のある、これからの生きがい対策にもつながっていきますので、しっかり応援したいと思いますので、よろしくどうぞお願いします。

〈なし〉

#### 〈第55款 教育費〉

**委員（三輪順治君）** 社会教育費の公民館費でございますが、特定財源、篤志家の寄附が40万円財源になります。一般財源が100万円あります。先ほどの説明では、高屋と大江公民館に対する寄附で、寄附費を、したがって40万円をベースに、140万円の全体の予算でございますが、理解とすれば、井原市がいろいろな整備基準、設備をしたり、機械買ったりするのは多分ルールがあって、これは井原市がするけども、これ以外は地元でしてよとか、いろいろあると思うんです。40万円の寄附金を受けて、100万円オンして、プラスして、140万円の備品を購入されるということですが、具体的にわかれば、実は、出部公民館もこれから建設に入っていきますので、参考までに、例えばそういう動きがとれるんですか。こっから向こうはあなた方やってくださいよ。こっからこっちは井原市が責任持ちま

すよ。この意味は、40万円の100万円ですから、倍以上の市の財源使うわけですから、これは例えばそういうことがあり得るんでしたら、地元としても、これから公民館いろいろ建てかえもありますけれども、こういう動きになっていくと思います。ちょっとご説明をお願いしたいと思います。

**生涯学習課長（田辺晶則君）** 2月に、高屋のなでしこ女性会のほうから100万円の寄附をいただいております。そちらのほうが一般財源の100万円ということになっております。

それから、大江公民館につきましては、大江地区の2名の方から合計で40万円の寄附をいただいております。

それぞれ、高屋公民館については、ワイアレスマイクロホンシステムの購入……。

**委員（三輪順治君）** もうええ。

構造がわかれば結構でございます。要するに、一般財源で100で組んだのは、先に寄附をいただいておりますという関係で一般財源化しとるわけであって、あくまでもこれは特定指定寄附といいますか、そういうもんですね。したがって、この公民館の備品購入については、全て一般財源は、市の税金じゃなくて、そういった寄附金で賄うと、こういう理解でよろしいんですね。

**生涯学習課長（田辺晶則君）** そのとおりでございます。

**委員（三宅文雄君）** 「馬越恭平の魅力」小冊子発刊事業補助金ということであるんですけども、何冊ぐらいで値段はどのぐらいでしょうか。

**文化課長（武田吉弘君）** 約2,000部を発行する予定とお伺いしております、市民への販売は予定していないということで、市内の小・中学校、公民館、図書館等に配付を予定しておると聞いております。

以上です。

**委員（三輪順治君）** ちょっと参考までにお聞きするんですが、そうした場合、国立国会図書館なんかに当然寄附されるわけですか。

**文化課長（武田吉弘君）** 先人顕彰会井原のほうで制作をされますので、そちらのほうで検討されると思います。こちらのほうではわかりかねます。

以上です。

**委員（三輪順治君）** よろしいです。

〈なし〉

〈歳入歳出全般についての質疑〉

〈なし〉

〈第2条 債務負担行為補正〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

〈議案第36号 平成26年度井原市病院事業会計補正予算（第1号）〉

〈なし〉

〈討論〉

〈なし〉

〈採決 原案可決〉

委員長（藤原清和君） 以上で議案の審査は終了いたしました。

なお、委員会報告書の作成につきましては、委員長にご一任願いたいと思います。

〈異議なし〉

委員長（藤原清和君） 閉会に当たり、執行部で何かございましたらお願いいたします。

副市長（三宅生一君） 終わりに当たりまして、一言お礼を申し上げたいと思います。

委員の皆様方には、長時間にわたりまして、終始ご熱心にご議論いただきました。通じていただきましたものにつきましては、今後の市政に反映していきたいというふうに思います。適切にご決定を賜り、重ねてお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

〈議長あいさつ〉

委員長（藤原清和君）　以上で予算決算委員会を閉会いたします。

皆さん、大変ご苦労さまでございました。